

令和7年度 大田区立入新井第二小学校 自己評価 報告書

令和7年4月1日

○ 本校の概要

★人権教育研究協力校〔人権教育の基本方針〕人間尊重の精神を基に、心身の調和のとれた発達と伸長を図り、自主性と創造性に富む人間性豊かな児童の育成を目指す。
 ★コミュニティ・スクール 1 学校、家庭、地域の連携・協働により、子どもたちを見守り育てていく教育環境をつくり「地域とともにある学校」をつくる。 2 地域資源を生かして豊かな教育を進め、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む。
 【学校規模】児童数695名、学級数24学級、教員数44名
 【教育目標】「考える子」・基礎・基本を身に付け、意欲的に学ぶ子 ・よく考え、自ら判断し、行動できる子 ・課題解決に向かって、最後まで取り組む子
 「健康な子」・自ら進んで体を鍛え、外遊びを楽しむ子 ・友達と仲良く、生き生きと活動する子 ・望ましい生活習慣を身に付け、よく働く子
 「やさしい子」・相手を思いやり、差別を許さない子 ・人とのかかわりを大切に、明るく挨拶する子 ・自然に親しみ、心豊かに感動できる子
 【目指す学校像】 学力・心・身体がバランスよく成長している健康な子どもが育つ学校 (1)子どもたちが基礎基本の学力を確実に身に付けることができる学校
 (2)子どもたちが温かい人間関係を築き、心身共に安心して生活することができる学校
 (3)子どもたちが基本的な生活習慣を身に付け、健康で生き生きと活動ができる学校
 【研究主題】「読解力を身に付け、考えを深める子どもの育成～読み取る力を高める国語科の授業づくりを通して～」

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組今後の改善策	学校関係者記入欄										
								評価	人数	コメント								
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来し 社会 を 創造 的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	4:			A										
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							3:								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。															
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															
②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	3:															
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	
③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	2:															
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	
				1:				D										
									お世個 お界別 たと目 をつ標 担な2 うが る人 国 を際 育都 成市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4: 大田区人権教育研究協力校として、英語やコミュニケーション能力の向上を図り、互いに尊重し合う心の教育と課題解決に向けて行動する力を育てる。	4:		A		
												3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						3:
												2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																		
②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	2:															
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	1: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	1:															
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 る性 力を を能 育力 を成 を発 揮す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4: 豊かな心の教育を行う。楽しく学ぶことで基礎・基本の学力の育成を図る。健やかな体の育成と食育を行う。これらの学びを、保幼小連携や小中一貫教育で行っている。	4:		A											
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						3:									
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。															
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															
②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	2:															
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	
③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	1: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	1:															
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	
④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	3:		B											
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。																	
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。																	
					2:		C											
													1: ・主体的に課題に対して解決していくことができるように、体験的学習や問題解決能力や創造性、コミュニケーション能力、協調性、思考力、情報活用能力をOT機器を活用しながら育成している。	1:	D			

学 校 別 力 目 ・ 標 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	校内研究やOJT研修を行い、ユニバーサルデザインを活用した指導力の向上を図り、児童に寄り添う教育活動を推進している。また、チーム学校として組織的に取り組むことで、教師がゆとりをもって校務に取り組めるようにしている。	4: 3: 2: 1:			A	B	C	D
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
た 自 個 め 分 別 の ら 目 学 し 標 び く 5 を い き 支 援 い き ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童一人ひとりに向き合い、校内体制や教育環境を整えることで、児童の可能性を伸ばす指導に心がけている。また、学校いじめ防止基本方針に沿って早期発見・早期対応に努力、スクールカウンセラーや外部機関と連携しながら児童に寄り添った支援を行っている。	4: 3: 2: 1:			A	B	C	D
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
安 柔 個 心 軟 かな で 目 教 創 標 育 造 6 環 境 な を 学 習 く 空 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	コミュニティ・スクールとして地域学校協働本部「チーム入二」を活用したり、地域の特色を生かした学習内容を計画したりして教育環境を整えている。	4: 3: 2: 1:			A	B	C	D
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
学 地 学 個 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 く ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 域 の 核 運 と 携 し ・ て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	学校、家庭、地域が連携・協働して、学校行事やPTA活動を行っている。地域学校協働本部「チーム入二」を活性させ活用することで、地域社会全体で子どもたちの育成をしている。	4: 3: 2: 1:			A	B	C	D
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す